

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	マリン実習 A	
開設学科	スポーツ健康学科		コース名	スポーツインストラクターコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	特になし						
担当教員情報							
担当教員	千葉			実務経験の有無・職種	有・プロサーファー		
学習目的							
夏の代表的なマリンスポーツの一つであるサーフィン・ボディボードを行うことによって基礎的技術や指導方法・安全対策などを身につけ、そして海における自然環境の厳しさ、マナーや事故防止についての知識や行動を実際の体験から習得します。また、集団生活を通して学生同士の協力、各自に与えられた役割を果たすことによって、集団の中の一員として自覚を持った行動・生活等、そして適正な社会性を身につけます。							
到達目標							
各個人の技量にあった技術レベルで、自らの判断、知識、立ち振る舞いを基に自分自身の責任において実習を行える能力を養います。海におけるマナーなど実際に体験をし、波を含む海洋状況や気象変化、他のサーファー、ボディボーダーの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中で安全に楽しむことを学びます。また、集団生活することにより、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことで人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得します。							
教育方法等							
授業概要	・サーフィン、ボディボードの実習に分かれて実施。人数が多いのであればグループ分けにて実施します。 ・技能レベルの取得のみならず、自然との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます。 ・基本的に個人競技ですが、学生同士が周囲への思いやりを持って楽しい時間を共有できるよう行動します。						
注意点	・授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。 ・講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにします。 ・海は気象の変化が激しいため、ウェットスーツ等をできる限り着用します。 ・身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	最終日に、課題を含めて総合的に評価します				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	50%	積極的な実習参加度、受講態度によって評価します				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			サーフィン、ボディボードについての注意事項、実習行程を理解します			
2回	海難事故について			海で起こりうる、事故やケガなどを理解します			
3回	サーフボード、ボディボードについて			サーフボード、ボディボードのメカニズム等を理解します			
4回	波について			波のリズムや、カレントのメカニズムを理解します			
5回	パドルリング			沖に出るために必要となるパドルリングの技術を習得します			
6回	パドルリングレース①			パドルリングの技術を駆使しチームでリレーを行なう事により、自分の技術レベルを理解します			
7回	スープライディング①			波の力で押される感覚をつかみ、サーフボード（ボディボード）に腹ばいで乗る技術を習得します			
8回	スープライディング②			波の力で押される感覚をつかみ、サーフボードに立って乗る技術を習得します			
9回	海と自然①			波の発生原理から、国内外の様々なサーフポイントを見ることによって、海の理解を深めます			
10回	海と自然②			ゴミなどが及ぼす、海もしくは自然への影響を学び、自分たちの生活について理解を深めます			
11回	うねりからのテイクオフ①			ポイントまでパドルリングで移動し、うねりからサーフボード（ボディボード）で直進する技術を習得します			
12回	うねりからのテイクオフ②			ポイントまでパドルリングで移動し、うねりからサーフボードに立って直進する技術を習得します			
13回	横に進む技術①			ポイントまでパドルリングで移動し、うねりから腹ばいで横に進む技術を習得します			
14回	横に進む技術②			ポイントまでパドルリングで移動し、うねりから立って横に進む技術を習得します			
15回	パドルリングレース②			パドルリング、ライディングの技術を駆使しチームでリレーをおこなう事により、自分の技術レベルを深く理解します			